

2022年度協定留学プログラム  
派遣学生留学状況報告書（最終）

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部 ／研究科      国際社会科学科／専攻      3年（留学年次） 年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。  イーストアングリア大学 開発学部
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。  2021年 9月 日 ～ 2022年 6月 17日 出国日： 2021年 9月 8日 最終帰国日 2022年 7月 16日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

## 1. 留学全般について

### （1）留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

初めは生活に慣れることに精一杯でどこでイベントに参加すれば良いかなどがわからずかなりチャンスを逃した。しかし後期からは様々な人に話しかけ、チャンスを逃さ無いようにした。後期からは毎日楽しく異文化交流できた。

### （2）留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

現地の状況についてはもう少し調べておく必要があった。学生団体や学外に行える活動については調べておく必要がある。また、寮についても何がついているかのみならず寮の色を調べることができれば調べておくと良いと思う。寮のトラブルに巻き込まれる人は多かった。

## 2. 留学先大学について

### （1）留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

思ったより、授業は大変ではない。選択できる授業数は3であり各科目一週間に4時間程度なので、英語力や理解力によるが自由に使える時間は多い。教授については、質問をすると答えてくれる教授が多い。授業も少人数なので積極的に授業に参加すると良い。

## (2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

ホームページの写真のイメージよりは建物は古い。また、大学内にスーパーマーケットはあるが大学外のものより高い。学内にはそのほかにカフェが数個、食事をできるカフェテリアのような施設、日替わりで食べ物が買えるお店、バー、クラブ、自転車屋などがある。また、学外では、一番近いスーパーマーケットが大学の中心から15分程度、街まではバスで20分程度で行ける。しかし、街のお店は基本的に4時ごろには閉まってしまうので注意が必要。

## (3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

**語学面：**留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

自分は語学上一切問題がなかったため、語学に関するサポートは受けなかった。バディシステムはいくつかある。現地の一年生と同じ学部の高学年の人と繋がるシステムがあり、留学生もこのシステムには参加できる。また、国際センターもバディシステムを用意しており、ネイティブの人と二人で話すことができる。

**生活面：**生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

生活面においては、何か問題があれば国際センターの人が対応してくれる。とても優しいので、わからないことがあればなんでも聞きに行ける。また、プライバシーもしっかりしており、周りの人に聞かれたくないことについては一対一で話すこともできる。話したくないことや誰に話して良いか聞かれ、周りの人や他のスタッフに話すことを拒否した場合は誰にも話さないなどと言った対応をしてくれる。また、学内のことのみならず、イギリスの電車システムや割引システムなども教えてくれた。イベントについては、様々なイベントが開催されている。日本語学科の生徒と関わる会や留学生同士の交流会などもある。ボーリングや映画会などもあり全てのイベントに参加できる。国際センターに定期的に行きスタッフと仲良くなっていると様々なことを教えてくれる。

**資金面：**現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

国内の奨学金を十分もらっていたため、現地での奨学金は貰わなかった。

## (4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

街自体の治安は良い。夜に友人と出歩くこともあった。また、旅行帰り、夜に帰宅することもあったが大きな危険を感じたことはない。しかし日本よりは治安は悪く一人で出歩

くのは危険。留学中にスパイキングと言ってクラブやバーなどで飲み物に薬物を入れられる、または直接体に注射される事件が多数発生していた。危ないと言われていた時期には街中での飲みの場には参加しなかった。しかし街のみではなく大学内のクラブでも発生していた。この事件のほかにも薬物に関しては、身近に感じるがあった。関わりたくなければはっきりと断ればそれ以上勧められることはない。

**(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。**

基本的には優しい人が多い。また留学生がすごく多いので様々な国の文化を知ることができる。また日本人留学生も多い。日本人が周りにいると何か困ったことがあったときに助けを求めることができるので関わりとある程度持つことは悪いことではないと思う。しかし、毎日日本人といるのは英語力的にも文化交流的にもおすすめはしない。

**(6) 留学先での履修科目等**

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

の科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Economics for development2: microeconomics	
Education and International Development	
Quantitative Evidence in Development	
Latin American Development	
Introduction to Economics of Development	
South Asian Development	

**3. 宿舎について**

**(1) 種類**

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ( )

**(2) 家賃**

月額 (現地通貨) 約 £486.64 、(日本円) 約 79,000 円

\*現地では £121.66 per week。

\*行った当初はレートが違ったため、約 73,000 円だった。

**(3) 食事**

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ( )

**(4) 大学までの交通手段、所要時間**

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ( )、計 0 分

**(5) 感想、良かった点・悪かった点**

大学内に住んでいるので、移動は楽だった。授業間は自分の寮に戻って食事を取ることができる。キッチンとバスルームは共有なので、常にととても汚い。キッチンは料理をするスペースがないほど食器が積まれている。一緒に住むのは18歳の一年生が多い。夜はパーティーなどが多く静かにしたい人からするとかなりうるさい。自分も参加する場合は楽しめる。

**4. 費用について**

**(1) 学 費**

(現地通貨) 約 \_\_\_\_\_、(日本円) 約 \_\_\_\_\_ 円  
現地の大学には払っていません。

**(2) 渡航方法と金額**

飛行機 / 船舶 / その他 ( \_\_\_\_\_ バス \_\_\_\_\_ )、(日本円) 約 200,000 円

**(3) 生活費 (※宿舍費を含めた金額を記入してください。)**

(現地通貨) 月額・年額 約 £700、(日本円) 約 100,000 円

**(4) 費用の持参方法**

国際キャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他 ( \_\_\_\_\_ )

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

オンラインで電車などのチケットが買えない等何度か支払いトラブルがあった。現地のカードを作った方が良いかもしれない。

**(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳**

**5. 保険について**

**(1) 保険会社**

東京海上日動

**(2) 保険料**

108,380 円

(3) 加入した保険の種類、内容

(4) 感想、良かった点・悪かった点

## 6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

洗濯が全てコインランドリーで乾燥機まで使うと一回1000円弱するので、手洗い用の物干し竿等は持って行って良かった。また、日本の食べ物は安心できるので良かった。現地でも購入できるが、種類が少なく、値段が高い。

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

現金はそこまで必要なかった。基本的にクレジットカードを使っていたので、現金を使ったのは1万円程度だった。

(4) 持って行けば良かったと思う物

特にない。

特に何も持っていかなくても基本的には現地で購入可能。

## 7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

授業がある日は授業を受け、大学やサークルが開催しているイベントに参加することが多かった。また、友人とご飯を食べに行ったり、お互いの寮で遊ぶことが多かった。

(2) 週末

週末は旅行に行くことが多かった。近い国は飛行機で1時間程度なので金曜日から月曜日を合わせるとヨーロッパに旅行に行くこともできる。街でショッピングやイベントに参加することもあった。

## 8. 後輩へのアドバイス等

とにかくいろいろな人と出会い、話しかけることでチャンスはいくらでも広がります。私が最後に仲良くしていた人も自分からキャンパス内を歩いていた時に声をかけた人たちでした。留学生も多く現地の人も英語が話せない人や現地のことがわからない人には慣れているので気にせずどんどん話しかけに行ってみてください。

## 9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。